

連載

循環器ナースのための

カテテル講座

～ 指導する側・される側 Win/Win カテ室看護 ～

執筆 澤海綾子 (新久喜総合病院 看護部)

第6回 カテ室入室時の介助と環境整備	
今回の内容	チーム全体でスムーズな入室を実行しよう
	穿刺部のポジショニングは絶対にマスターしよう
	「整理」と「整頓」は区別しよう



新人さんの目標

- 入室時の3つの支え(ポイント)をマスターし、一つ一つの項目を確実にこなせるようにしよう
- 「整理」と「整頓」の違いを理解し実行しよう



指導者の目標

- カテ開始の邪魔にならないよう、スピードと確実性を提供できるように指導しよう
- 「一覧性」と「簡便性」を備えたカテ室環境を作ろう

はじめに

カテテル室(以下、カテ室)入室時は何を大事にして行動するべきでしょうか? スムーズにカテテルを開始し安定した手技を提供するには、効率のよい入室時の介助が求められま

す。今回は、入室時のポイントを①患者さんの心の支え、②患者さんの身体の支え、③医師の手技の支えの「3つの支え」で分類してみました。また、カテ室には、さまざまな職種のスタッ

フがあり、異動してくるスタッフも多くいます。そのため、誰が入っても使いやすく・動きやす

い環境作りが求められます。後半は、カテ室の環境整備について論じていきます。

自己紹介

患者さんの心の支え

マスクを外して、眼と眼を合わせて自己紹介します。



新人さんのポイント

入室時は一番患者さんの不安が強くなります。笑顔での対応が重要です。



指導者のポイント

流れ作業で行っていないか、笑顔で患者さんと目線を合わせているかを確認しましょう。

患者本人確認 (図1)

医師の手技の支え

氏名、生年月日、今日の検査、治療部位を口頭で患者さんに言ってもらいます。

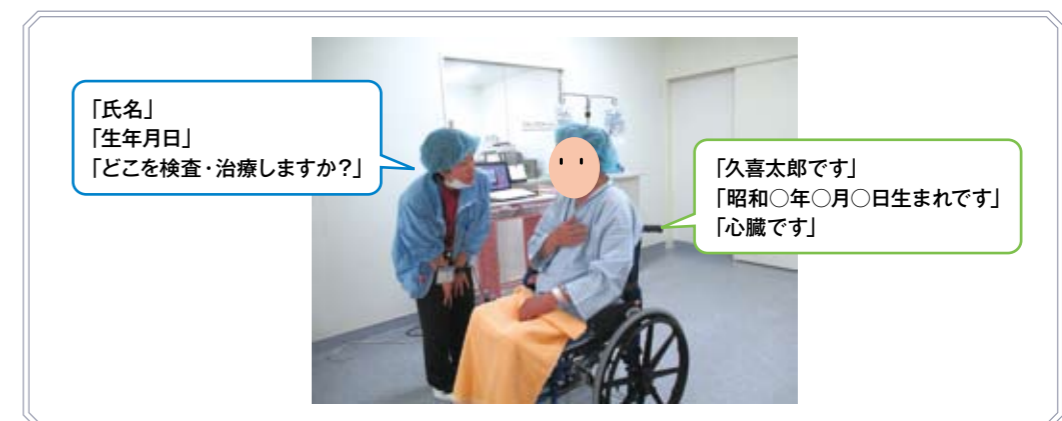


図1 患者本人確認時の様子